

第 15 回 POTT オンライン学習会報告

開催日時：2024 年 4 月 20 日 19:00~21:00

担当：POTT 北陸ブロック

第 15 回学習会プログラム

1. POTT プロジェクト代表挨拶 迫田 綾子

2. 特別講演

「食事ケアと呼吸の影響」

講師：北出 貴則 先生医療法人誠佑記念病院診療技術部リハビリテーション室室長

* 配布資料は PDF で添付、講演アーカイブで 5 月再視聴

3. 質疑応答

4. まとめ・閉会の挨拶 新潟県立看護大学 看護学部 看護学科 准教授 原 等子

講演に関する Q&A

Q：側臥位時の腕の重みは両肺への影響と考えてよいですか？

A：胸郭に圧を与えるため両肺に影響はあると考えられる。

Q：チームの中で看護師は呼吸に対しどのような役割を果たすべきか？

A：事例を通して呼吸を勉強する機会をもつていただく。どういう目的をもってケアを行うか、一緒に実践（圧抜きをする、肩を動かす、ネブライザー）することが有効。できるひとは個別に実践していただく。事例を交えてカンファレンスやディスカッションを行うことが大事だと考えます。

Q：食後疲労感が残る方の姿勢について教えて欲しいです。

A：疲労感が残るとすれば、何分ぐらいなのか。20 分程度かけて食事し疲労感があるようであれば食事量を見直すべき。とにかく足や体幹をサポートしポジショニングを正しく行うこと。姿勢を安定させることで酸素消費も少なくなる。毛布やタオルケットなど、使えるものを使用し姿勢安定を。

また、汗をかいているなら温度調整、表情はどうかなど、バイタルだけではなくちょっとしたことにも配慮を。点滴を入れることによって痰が増える、利尿剤により排泄に疲れてしまう場合もあるので、その点も考慮を。

Q：胸腔内圧上昇のために胸郭をおさえるという簡単なことが咳嗽のサポートに繋がること、体感して勉強になりました。

A:あたまのマッサージを行うと副交感神経が働きやすい。副交感神経が働くと呼吸が楽になる。下肢挙上をする例が良くみられるが、下肢を挙上すると胸に圧がかかり呼吸がしづらくなるので要注意。

Q：呼吸状態の悪い方は低栄養が背景にあることが多いと思うが、低栄養状態が遷延しないための工夫はありますか？

A：当院でも IVH を選択することは多い。あとは末梢点滴。経鼻胃管は少ない。PEG の方はいるが PEG を用いながらリハビリと経口を試みている。退院支援はよく行われるが、外来など入院前の栄養についてのカンファレンスなどが課題を考える。

高カロリー輸液をしながら、エンシュアの引用など。短時間で摂取できるものの配慮を。が、実際には時間がかかることも多い。ゴールをどこに持ってくるかが難しいところ。静脈栄養の問題は痰が増えることか。



顔出しの方のみ掲載しました。

石川県能登半島地震のバスタオル等支援について

被災されました皆様にご心からお見舞い申し上げます。

今回の POTT オンライン学習会参加費を石川県能登半島地震支援金として、皆様からお預かりしました。

2024 年 5 月 11 日に、北陸ブロックの佐藤幸浩、廣瀬真由美、土井淳詩の 3 人で POTT タオル 30 枚と、レッグサポーター 30 組を石川県輪島市の「ごちやまるクリニック」に届けさせていただき、小浦詩先生にお渡しさせていただきました。

水道が復旧し、仮設住宅の建築が始まっていますが、倒壊した建物はそのままになっているものが多く、避難所生活をおくっていらっしゃる方もまだまだいらっしゃる現状です。被災された方々のお役に立てば幸いです。ご支援、ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



写真;POTT プロジェクト理事 佐藤先生と右が小浦詩先生

能登半島地震支援は、3 月までに以下の団体に支援致しました。

プライマリケア学会支援チーム バスタオル 20 枚 義歯容器 20 個
 石川県看護協会 バスタオル 50 枚 レッグサポーター 50 枚他
 支援協力；メディカルサービス明和、コーポレーションパールスター社

学習会 アンケート結果 回答 28 名 回収率 32.5% (参加者 86 名)

1.自施設でポジショニングに取り組んでいる 20 名 (68.9%)

2.参考になった 28 名 (100%)

3.参考になったこと

- ・嚥下と呼吸の関わり的重要性を再確認した
- ・側臥位のポジショニングについて
- ・呼吸状態を配慮したポジショニングと言う観点が勉強になりました。個人的にすでに実践している点もあり、より意味合いを持たせて継続したいと思いました。
- ・姿勢と呼吸との関係改めて重要性を感じた。負荷を徹底的に考えた介入、事例を通して協働する仲間づくりも参考になった。
- ・たくさんありますが、明日からできること マッサージが大事ということ。
- ・呼吸に対するアセスメントの重要性 ・嚥下と呼吸の影響および介入方法について学びました
- ・食事ケアと呼吸が大切であることは以前より言われています。どうしても誤嚥性肺炎や COPDなどをテーマとした内容が多かったが、心疾患やその他の要因をわかりやすく講演いただき学ぶことができました。
- ・側臥位での呼吸のしやすさについて 今まで意識をしていなかったので抱き枕をして上肢・下肢の安定する姿勢がとても参考になりました。
- ・まずはしっかり呼吸を見ることから始めるとことを痛感しました。どれだけ患者さんがリラックスをして運動(食事)をする準備ができているかを見て、食事を始めることが大切であることがわかりました。
- ・呼吸への体位の影響が印象に残りました。
- ・呼吸状態や呼吸パターンの観察や、無理のない栄養補給の検討について、疾病や服薬状況等トータルでみて多職種で検討していく点が大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・食事前、途中、後の呼吸状態の観察、変化をみる。しっかり観察、見守るすること。ポジショニングを学ぶ必要性を再認識した。"
- ・ポストリフトの実施方法は、とても参考になりました。
- ・呼吸が疲労しないような食事の区切り方 ・"呼吸の知識の再確認ができました。
- ・改めて今の病院で患者さんが困っているであろうなというところがわかりました。
- ・全部は一度にできなくても、本日の講義から、少しずつでも、特に側臥位でのポジショニングなどできるように声をだしていきたいと思います。
- ・私は、今まで急性期病院で働いていて栄養を追加することはあっても、減らしていくということは、なかなかしていませんでした。
- ・いまの療養型では、食事時間がかかったり本人が食べられないようならどんどんスタッフが栄養補助食品に変えたり量を減らしています。
- ・先生の講義や事例を聴きながら、根拠性を明らかにしながら関わっていききたいと改めて思いました、参加して本当によかったなと思います。
- ・療養型に変わって、業務的になりつつあったので、個別性を大事にする看護師でありたいと思います。
- ・今後もセミナー楽しみにしております。ありがとうございました。"
- ・呼吸のメカニズムと呼吸を支援することの大切さ。 ・呼吸は初心者ですので ありがたいです
- ・呼吸と食事の関係、観察ポイントなど具体的でわかりやすく、とても参考になりました。入院前カンファレンスの勧めも、なるほど・・・と納得しました。入院した途端に退院指導は患者の身になると想像できないことが多いです。
- ・呼吸器の生理学と食事のつながりが参考になりました。

- ・呼吸の援助方法の動画が分かりやすく、参考になりました。ありがとうございました。
- ・咳嗽反射がとても大切、また入院時から多職種連携して取り組むことが重要である。
- ・呼吸が嚥下に影響するということ
- ・非常に楽しく勉強させていただきありがとうございました。

その他のご意見

- ・自施設でポジショニングの定着に向けて取り組んでいきたいと思います
- ・能登地震での活動、お疲れ様です。また、ありがとうございます。
- ・"とてもわかりやすく、場面を想像しながら聴講できたことで、学びながら自己の振り返りもできました。参加が遅れてしまい、はじめのほうを聞き逃してしまったのが悔しく思います。ありがとうございました。

以上、ご意見ありがとうございました。 次に活かして参ります。

POTT プロジェクト 理事会